

公共事業新規評価の結果について

【維持系】

○事業概要 …P 1

○公共事業評価新規評価調書

- | | | |
|----------|-------------|------|
| 1. 道路課 | (舗装補修事業) | …P 4 |
| | (道路防災事業) | …P 5 |
| 2. 河川砂防課 | (河川保全事業) | …P 6 |
| | (危機管理ハード対策) | …P 7 |
| | (海岸メンテナンス) | …P 8 |

道路事業(舗装補修)

【事業の目的】

舗装のクラックやわだち掘れにより、走行性の悪化など、車両の通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、舗装補修を行うことで交通の円滑化及び通行車両の安全性の向上を図る。

整備前



国道208号(佐賀市本庄町)

整備後



道路事業(道路防災)

【事業の目的】

法面のクラックや土砂崩壊、落石など、道路利用者の安全な通行に支障を及ぼす可能性がある箇所について、道路法面の防災対策を講じることで安全性の向上を図る。

整備前



松尾佐賀停車場線(小城市三日月町織島)

整備後



法面对策(法枠工)



川吉平山上線(多久市西多久町板屋)



法面对策(ネット張工)

河川保全費

事業の目的:一級河川の指定区間及び二級河川において、河川管理施設の適正な維持管理を行い治水機能の保持を図る。

○伐採系

堤防のクラックや異常を確認するするとともに、水の阻害や河川管理上支障がある草木の伐採



○浚渫系

河川流水の阻害となっている河道内堆積物の掘削除去



河川保全費

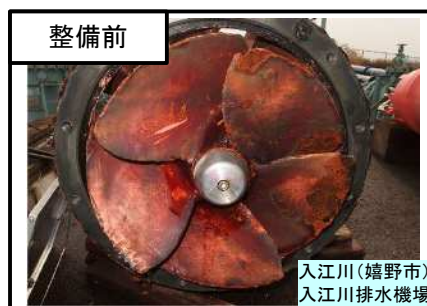
○堤防修繕系

堤防、護岸、魚道等の既設工作物の修繕および洪水時の被災防止のための空石積みや護岸の中抜け区間の整備



○河川管理施設修繕系

錆等で腐食した、水門、樋門、樋管、排水機場等の機能回復を図るための修繕



【維持系】総合流域防災事業

○危機管理型ハード対策

事業の目的: 一級河川の県管理区間または二級河川で堤防決壊が発生した場合、甚大な被害が想定される区間(重要水防区間)において、堤防天端の保護と堤防裏法尻の補強を行うことで、堤防決壊までの時間を引き延ばし、沿川住民の円滑な避難を図る

整備前



整備後



公共事業新規評価調書(維持系)

本部・部名	国土整備部	課名	道路課	事業名	道路整備交付金事業費(防災・安全社会資本整備交付金)	舗装補修
種別	道路	事業区分	維持管理			

事業目的	舗装の経年劣化に伴う路面の凹凸やひび割れの発生により、走行性が悪化し、車両通行に支障を来している箇所に補修を施し、道路交通の安全性及び快適性の確保を図る。
------	---

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選定する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、副産物処理の適正処理、再生材使用による資源の有効活用等を行う。
	コスト縮減策	経済性・施工性に優れた工法を検討し採用する。路盤材、アスファルト等は、再生材等の安価な材料を使用する。
	その他	

公共事業新規評価調書

事務所名	箇所番号	道路種別	路線名	事業地	事業費		公共単独の別	完成予定年度	事業概要				評価視点:位置付け					評価視点:必要性・効果					評価視点:実施環境												判断																										
					全体額 百万円	要望額 百万円			延長 m	幅員・法長 m	平積 m ²	工法	評価指標:事前調査					①MCI値 現状	②事業(交通安全事業等)との関連により、舗装の補修が必要な箇所	現況交通量(日当たり)	点数	評価指標:公共施設、沿道状況等																																							
													わだち掘れにより通行車両や通行人に障害が発生している箇所	舗装の劣化が激しい箇所	カーブ区間及び交差点付近などの偏荷重のかかる箇所	大型車の通行が多い箇所	沿道が家屋連担地区であり、通行車両の騒音に配慮すべき箇所					通行規制区間	渋滞対策プログラムの渋滞箇所	交通事故多発箇所	点数計	沿道状況による評価	半径1km以内の沿道施設状況による評価						迂回路の状況による評価																												
					沿道状況による評価												半径1km以内の沿道施設状況による評価						迂回路の状況による評価						点数小計	評価指標:道路の役割				評価指標:緊急輸送路・観光ルート				点数計																							
					沿道状況による評価												半径1km以内の沿道施設状況による評価						迂回路の状況による評価							点数小計	評価指標:道路の役割					評価指標:緊急輸送路・観光ルート				点数計																					
佐賀	1	国道	264号	佐賀市	松原一丁目	30	30	単独	R6	250	10.5	2,625	切削オーバーレイ	20	20	20	20	20	20	80	4.8	30	30	18,945	40	70	60	1	2		1			2	1	1			60						20				20	10	10	90	A	B	A	I					
佐賀	2	国道	264号	佐賀市	与賀町	25	25	単独	H6	50	10.5	525	切削オーバーレイ	20	20	20	20	20	20	100	4.8	30	30	18,945	40	70	60	1	2	1			2	1	1			60					20				20	10	10	90	A	B	A	I							
東部	3	(主)	久留米基山筑紫野線	基山町	基山	26	26	公共	R6	300	4.5	1,350	舗装打換工	20	20	20	20	20	20	80	2.5	60	60	32,637	40	100									1					20					20				10	10	90	A	A	A	I						
唐津	4	(主)	浜玉相知線1	唐津市	相知町山崎	30	30	単独	R6	800	6.2	2,480	切削オーバーレイ	20	20	20	20	20	20	60	2.8	60	60	11,011	40	100		1							1					3	60			0	0	60				10	10	10	80	B	A	A	I				
唐津	5	(主)	浜玉相知線3	唐津市	相知町大野	20	20	単独	R6	470	7.0	3,290	切削オーバーレイ	20	20	20	20	20	20	60	2.4	60	60	11,011	40	100		1							1					3	60			0	0	60				10	10	10	80	B	A	A	I				
伊万里	6	(国)	204号	伊万里市	東山代町長浜・里	180	60	公共	R8	730	14.7	10,731	路上再生舗装工	20	20	20	20	20	20	100	1.0	60	60	11,925	40	100	60	1	1			3	2	1		1				60		40	40	60				20				10	10	90	A	A	A	I			
伊万里	7	(一)	大木有田線	有田町	本町・岩谷川内	90	45	単独	R7	1,500	6.6	9,900	切削オーバーレイ	20	20	20	20	20	20	80	1.3	60	60	6,679	30	90	60	3	4	4	4			1	1	1			60		40	40	60				10			0	70	A	A	B	I						
杵藤	8	国道	207号	白石町	室島	31	15	公共	R7	200	6.5	1,300	路上路盤再生	20	20	20	20	20	20	60	2.5	60	60	12,594	40	100		1								1		1			3	60			0	0	60				20				10	10	90	B	A	A	I
杵藤	9	国道	498号	武雄市	川古	42	16	公共	R7	500	7.0	3,500	舗装打換	20	20	20	20	20	20	60	2.8	60	60	10,090	40	100									0	0	60					60				20				10	10	90	B	A	A	I					

公共事業新規箇所評価調書 (維持系)

本部・部名	県土整備部	課名	河川砂防課
種別	河川	事業区分	維持管理
		事業名	河川保全事業 (堤防修繕系)

事業目的	一級河川の指定区間または二級河川において、既設河川管理施設の老朽化や亀裂、破損などを改築または修繕する工事を行うこと、または、天然河岸であっても、この崩壊により河川管理に支障を来す恐れの高い箇所へ護岸等の施設を新設する工事を行うことによって、治水機能の保持を図ることを目的とする。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト削減策	現場発生材の有効活用等、より経済的な工法を検討し採用する。
	その他	

注) () 内の数字は満点

新規・継続区分	事務所名	箇所番号	水系名	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 (百万円)	R6 要望額 (百万円)	事業概要	完成 予定 年度	評価視点：位置付け										評価視点：必要性・効果										評価視点：実施環境										評価	判断						
					市町名	大字等					総事業費 (百万円)	R6 要望額 (百万円)	工法	延長、 数量等	評価指標：危険度判定 (河岸の状況)					評価指標：危険度判定 (機能判定)					評価指標：構造上の課題 (安全性)					評価指標：構造上の課題 (既施設の材質)					評価指標：想定被害区域の状況 (土地の利用状況)				評価指標：想定被害区域の状況 (公共施設の数)				評価指標： 地元関係者の協力・要望					
															崩壊している。または、基礎部が浮いている。亀裂・破損が著しく裏込材の吸い出しが見られる。	基礎が見えていて、または、亀裂・破損が見られる。	亀裂・破損が見られる。	基礎部は見えない。または、安定している。	小計	施設と全能的に緊急性を要する。	施設が不安定で、早急な対応を要する。	施設として機能しているが、改築を望ましい。	改築、修繕の必要はない。	小計	計	堤防の法面勾配が5分以下	堤防の法面勾配が5分より大きく1割以下	堤防の法面勾配が1割より大きく2割以下	堤防の法面勾配が2割より大きい	小計	木系、石系(空)、土堤	カゴ系、石系(練)	コンクリート系	小計	計	人家連担区域である	背後地に家屋等がある	農地等がある	山付である	小計			1施設以上	無し	小計	地元の要望がある	工事に協力的である	工事に非協力的である
					(60点)	(50点)					(40点)	(0点)	(60点)	(40点)	(30点)	(20点)	(0点)	(40点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(40点)	(30点)	(20点)	(40点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(20点)	(0点)	(20点)	(20点)	(10点)	(0点)			(20点)	(100点)				
新	佐賀	1	嘉瀬川	東平川	大和町	池上	90.0	50.0	護岸工、根固め工	L=83.0m A=108m ²	R7	60				60	30			30	90	60				60		20	20	80		50			50	20		20	20		20	90	A	A	A	I		
新	佐賀	2	嘉瀬川	大串川	富士町	杉山	40.0	40.0	護岸工	L=36.0m A=240m ²	R6	60				60	30			30	90	60				60	40		40	100				40	0	0	20		20	60	A	A	B	I				
新	東部	3	筑後川	鯉江川	千代田町	渡瀬	120.0	50.0	護岸工	L=85m	R6		50			50	30			30	80	60				60	40		40	100				40	0	0	20		20	60	A	A	B	I				
新	東部	4	筑後川	三本松川	神埼町	志波屋	10.0	10.0	護岸工	L=30m	R6		50			50	30			30	80	60				60	40		40	100				40	0	0	20		20	60	A	A	B	I				
新	唐津	5	松浦川	五藤田川	唐津市	原	30.0	30.0	根固め工	L=63.0m	R6		50			50	30			30	80	60				60		20	20	80		50		0	0	20		20	70	A	A	B	I					
新	唐津	6	玉島川	玉島川	唐津市	七山仁部	30.0	30.0	護岸工	L=50m A=280m ²	R6		50			50	30			30	80	60				60	40		40	100				40	0	0	20		20	60	A	A	B	I				
新	杵藤	7	六角川	白石川	白石町	福吉	156.0	30.0	護岸工	L=750m	R10	60				60	30			30	90		40		40	40		40	80				40	10	10	20		20	70	A	A	B	I					

公共事業新規評価調書（維持系）

本部・部名	県土整備部	課名	河川砂防課	事業名	総合流域防災事業
種別	河川	事業区分	維持管理		

事業目的	個々の事業規模が小さい等から個別箇所ごとの予算管理を行う必要性が低い事業について、流域単位を原則として、包括的に水害・土砂災害対策の施設整備等及び災害関連情報の提供等のソフト対策を実施し、豪雨災害時に対し流域一体となった総合的な防災対策を推進する。
------	--

定性評価	自然環境保全	自然環境にできるだけ影響を与えない工法を選択する。
	生活環境対策	排ガス対策型機械の使用、建設副産物の適正処理、再生材の使用等を行う。
	コスト削減策	より経済的な工法を検討し採用する。現場発生材の有効活用、再生材の使用等、より安価な材料を使用する。
	その他	

新規・継続区分	事務所名	箇所番号	水系名	路河川名及び地区・箇所名	所在地		事業費 (百万円)	事業概要	評価視点：位置付け														評価視点：必要性・効果										評価視点：実施環境										判断							
					市町名	大字等			評価指標：危険度判定（重要水防区間）				評価指標：危険度判定（堤防の危険度）				評価指標：危険度判定（流下能力（堤防高））						評価指標：浸水想定区域内の被害規模（浸水戸数、浸水面積）				評価指標：近年の出水状況		評価指標：想定被害区域の状況（土地の利用状況）				評価指標：想定被害区域の状況（公共施設の数）		評価指標：地元関係者の協力・要望															
									整備対象区間が重要水防区間内である	整備対象区間が重要水防区間外である。（浸水範囲に家屋有り）	整備対象区間が重要水防区間外である。（浸水範囲に家屋無し）	小計	（堤防天端高-背後地盤高さ）が1.0m以上	（堤防天端高-背後地盤高さ）が0.0~1.0m未満	（堤防天端高-背後地盤高さ）が0.0m未満	小計	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防高を越える	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防の計画余裕高に満たない	計画高水流量規模の洪水の水位が現況堤防の計画余裕高を満たす	小計	計	家屋が20戸以上又は面積が20ha以上	家屋が5~20戸未満又は面積が5~20ha未満	家屋が1~5戸未満又は面積が1~5ha未満	家屋無し又は面積が1ha未満	小計	過去10年間で氾濫危険水位相当以上の水位を観測した実績がある	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がある	過去10年間で氾濫注意水位相当以上の水位を観測した実績がない	小計	計	人家連担区域である	背後地に家屋等がある	農地等がある	山付である	小計	あり	なし	小計	地元の要望があり	工事に対し協力的である	工事に対し非協力的である		小計	計					
					(60点)	(40点)			(0点)	(60点)	(20点)	(10点)	(0点)	(20点)	(20点)	(10点)	(0点)	(20点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(40点)	(20点)	(0点)	(40点)	(100点)	(60点)	(50点)	(40点)	(0点)	(60点)	(20点)	(0点)	(20点)	(20点)	(10点)	(0点)	(20点)	(100点)								
新規	佐賀	塩田川	八幡川	嬉野市	塩田町馬場下	110.0	危機管理型ハード対策 L=1.8km	60					60	20				20			0	0	80	60				60	40			40	100		50			50	20		20		10		10	80	A	A	A	I

